
虹色流星物語

空

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

虹色流星物語

【Nコード】

N9057Y

【作者名】

空

【あらすじ】

男装少女が魔法学校に通い剣術修行をしながらも様々なトラブルに巻き込まれる物語。

そしていつの間にか世界の運命を変えることに…？

宝石と星をテーマにした剣と魔法のファンタジー。

プロローグ

星形が特徴な小さな大陸、ジュエル大陸。

1000年前、ジュエル大陸は闇の支配者に占領されていた。闇の支配者の力がとても強く、誰一人適わなくただ闇の支配者に従うしかなかった。

そんな時、5つの力が宿る剣を持った英雄が闇の支配者に対抗し、封印することができた。だが、その英雄は封印すると同時に闇の支配者の呪いで剣を残して姿を消されてしまった。

剣の力は全て無くなると同時に、この英雄伝説を信じる者は少なかった。

執筆中（前書き）

世界観用語説明

ジュエル大陸↓この物語の世界観。星形の形をしているため「星の大陸」とも呼ばれている。

エトワール村↓主人公の故郷。夜空の星が絶景。数少ない英雄伝説を知っている住民。ルミネ王国とは離れたところにある田舎村。エトワールフルーツ（スターフルーツ）が名物。

ルミネ王国↓ジュエル大陸で一番大きく、中央にある国。首都はセンス。

ルミネ城↓ルミネ王国の城。ルミネの王族と騎士のみ英雄伝説を知っている。

センス↓ルミネ王国の首都。田舎者が憧れる都会。

センス魔法学校↓その名の通り魔法学校。魔法の素質のある者のみ入学可能。年齢は問わないが、10代が多い。1年から6年まである。制服は黒または白を基調とした様々な種類がある。ネクタイ（リボン）の色は男子が青、女子が赤。卒業すると魔法使いと認められる。

執筆中

「クリス！お前は男装してルミネ城の騎士になるのだ！そして今日も剣術修行だ！」

ブンッ！

「わっ…！」

ガバッ

「ゆ、夢か…。」

朝からあんな夢を見てしまうとは。しかも子供のころから言われた言葉。剣を振り回されたところで目が覚めた。

忘れようと思ったのに。剣術修行とはいえ、今は魔法の勉強に励んでいる。決して俺はそれを利用して騎士になるつもりはないが。せめていい夢くらい見せておくれ。

「おっはよークリス！今日は珍しく遅いね」

バンっ！と大きな音を立て、扉が開く。そこにいたのは幼馴染のパールがいた。いつもは寝坊していて俺が起こすのに既に制服に着替えている。

「何言ってるんだパール、寧ろこっちが珍しく思う。いつも通りだつて…！？」

時計を見たら朝6時50分。いつもは5時に起きてるはずなのにこんなに遅れてしまった。

「今日はどうせ休みじゃないの。」
「それでも俺は修行をする。」

結局は俺も剣術修行をして騎士にならなければならないという運命だが、いつかそれを押し切る。そして母アメシストのように吟遊詩人になって世界中を旅するのが夢だ。剣術と魔法は護身術のつもりで扱う。

母は幼いころに他界したが、かつて吟遊詩人として使っていたギタ―は現在形見として持っている。

俺はすぐに支度をして剣を持ってそのまま部屋を出ようとする。

「そういえばモリオンお祖父さんからエトワールフルーツ送ってきたよ。」

「え、あの頑固でケチなやつが？」

「やつって：一応クリスのお祖父さんでしょ。」

「あんな強引に剣術教えるやつなんぞ祖父と認める筋合いは無い。」

ゆっくりお茶でも飲んでいるゆるゆる爺さんの年頃だというのに
それでも元氣な祖父モリオン。

いくら剣術で大人に勝っても未だ勝つことができない。力だつて劣
つてもいない。

俺が女であろうと男に育てるので全く容赦しない頑固者である。

それにしてもエトワールフルーツか：。俺の故郷エトワール村名
物の果物が箱に大量に入っている。

「終わったら一緒に食べよう？」

「わかったわかった。」

子供のころから変わらない笑顔をするパール。少し羨ましい。
そう思いながらもいつもの修行場に向かうのであった。

「

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9057y/>

虹色流星物語

2011年12月5日22時53分発行